

# スタートカリキュラム

北海道教育大学附属札幌小学校

---

小学校生活の1～2か月は、環境の変化に弱い子どもにとって難しいことが凝縮されている……。

やり方が分からない      何をするのか分からない

やるべきことが分かれば、

1年生は何でもできる！！

---

# 朝の仕度～やり方を視覚化









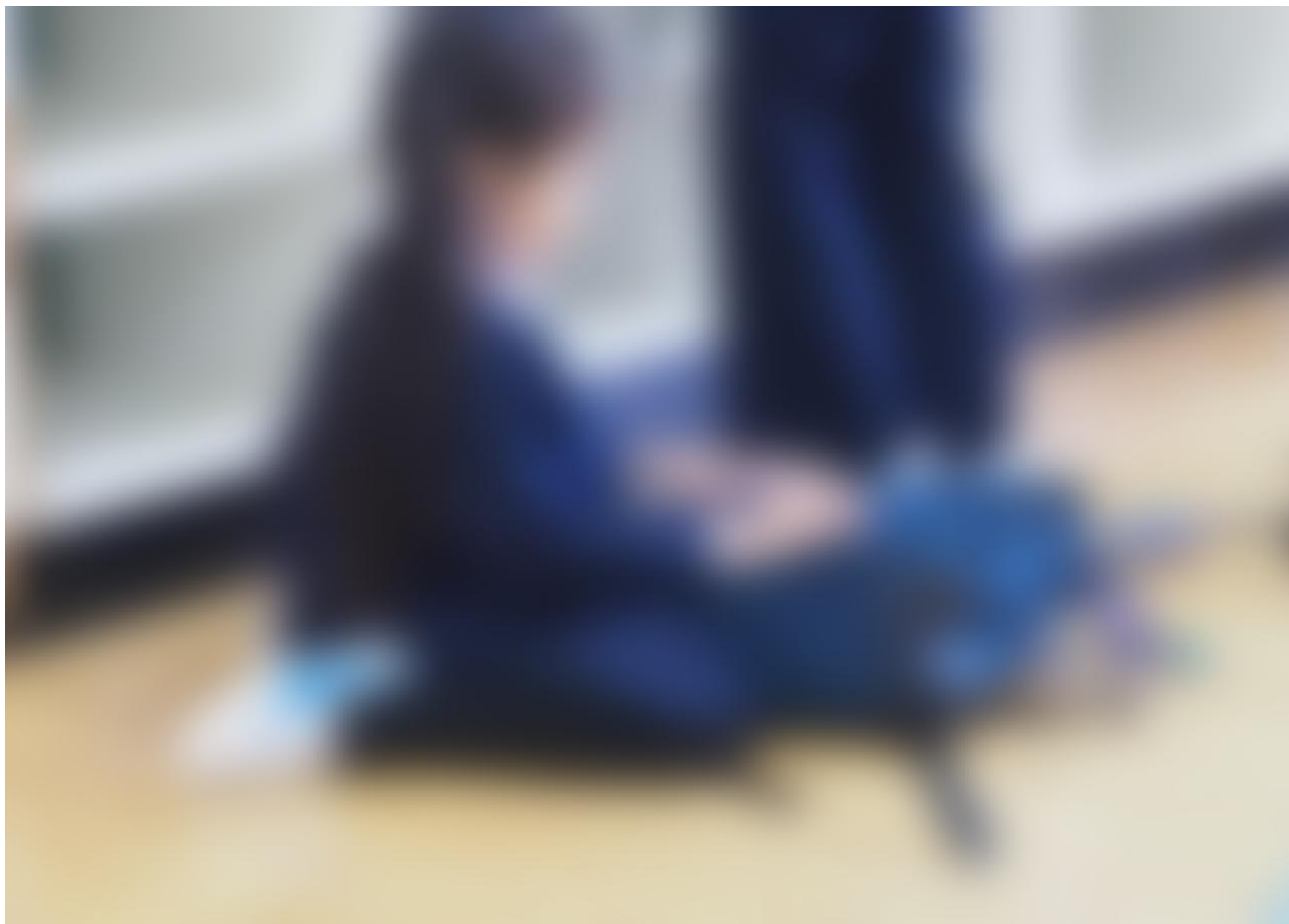




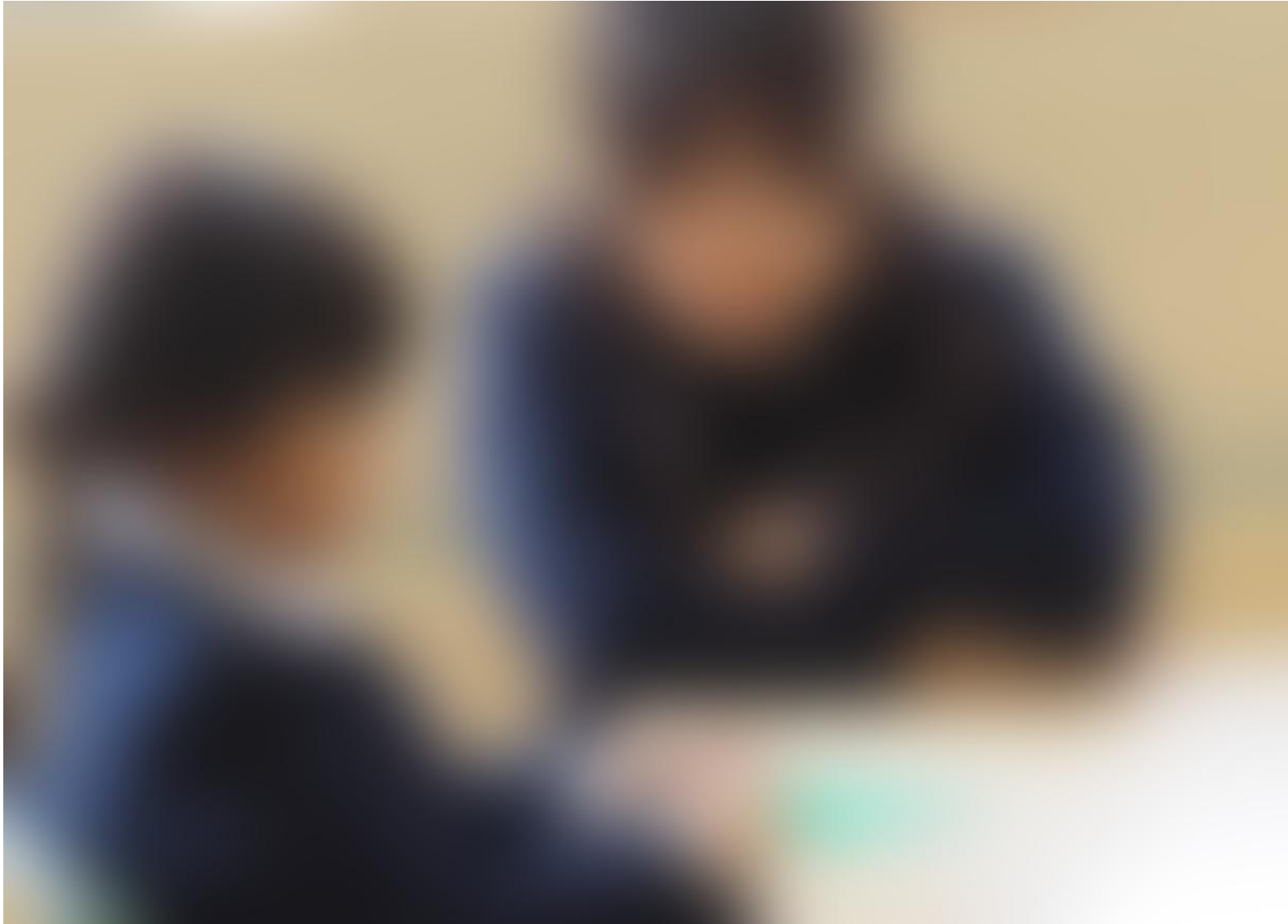


## 入学2日目

表示を見て、  
一人で支度をする

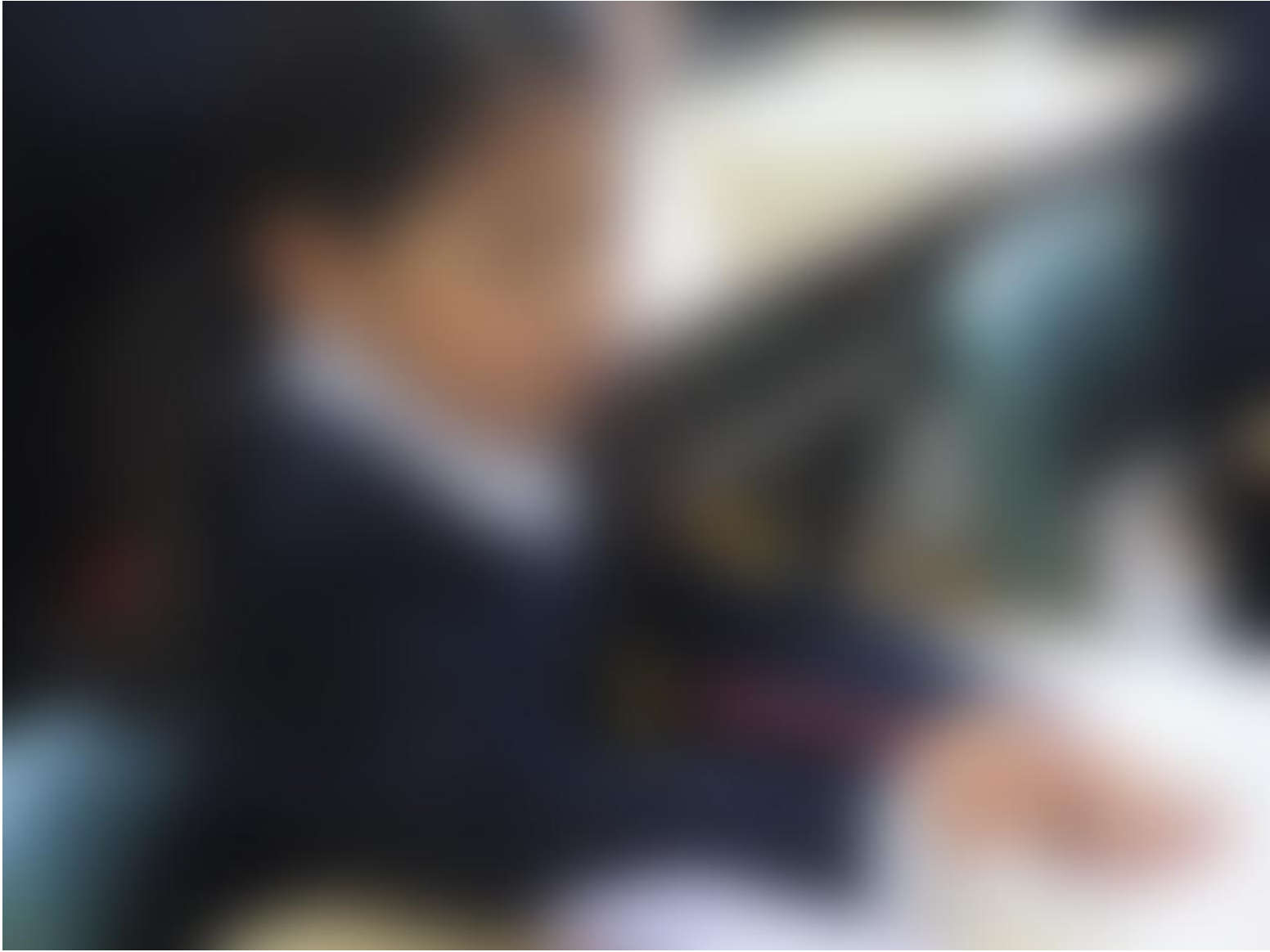




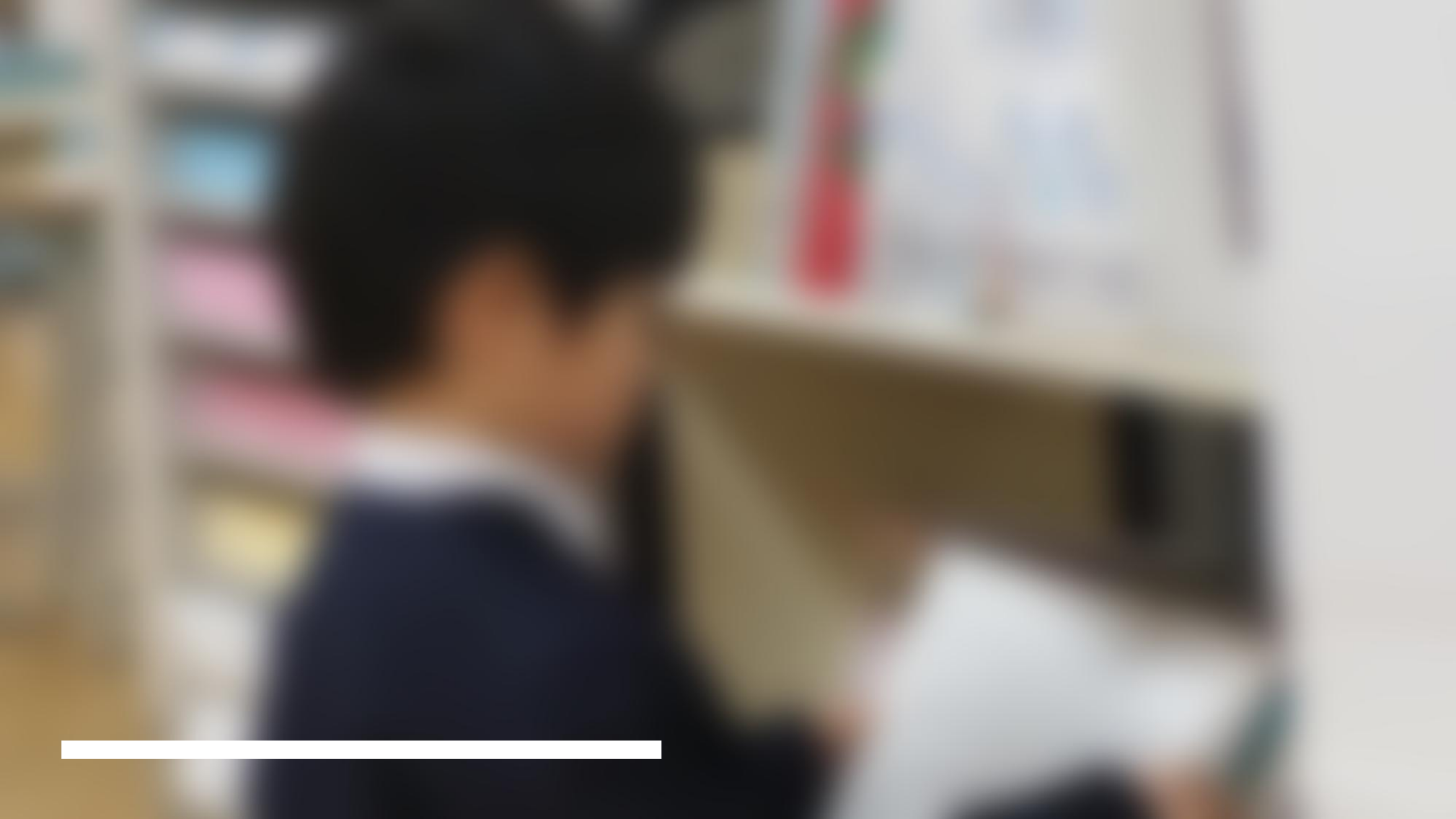


朝の時間まで

- ・ 折り紙
- ・ 塗り絵
- ・ 迷路
- ・ 読書
- ・ 教室内で 6 年生とお話







---

幼稚園から小学校に学び場が変わっただけで、今までの学びが繋がらない……。

学び方が違い過ぎた……

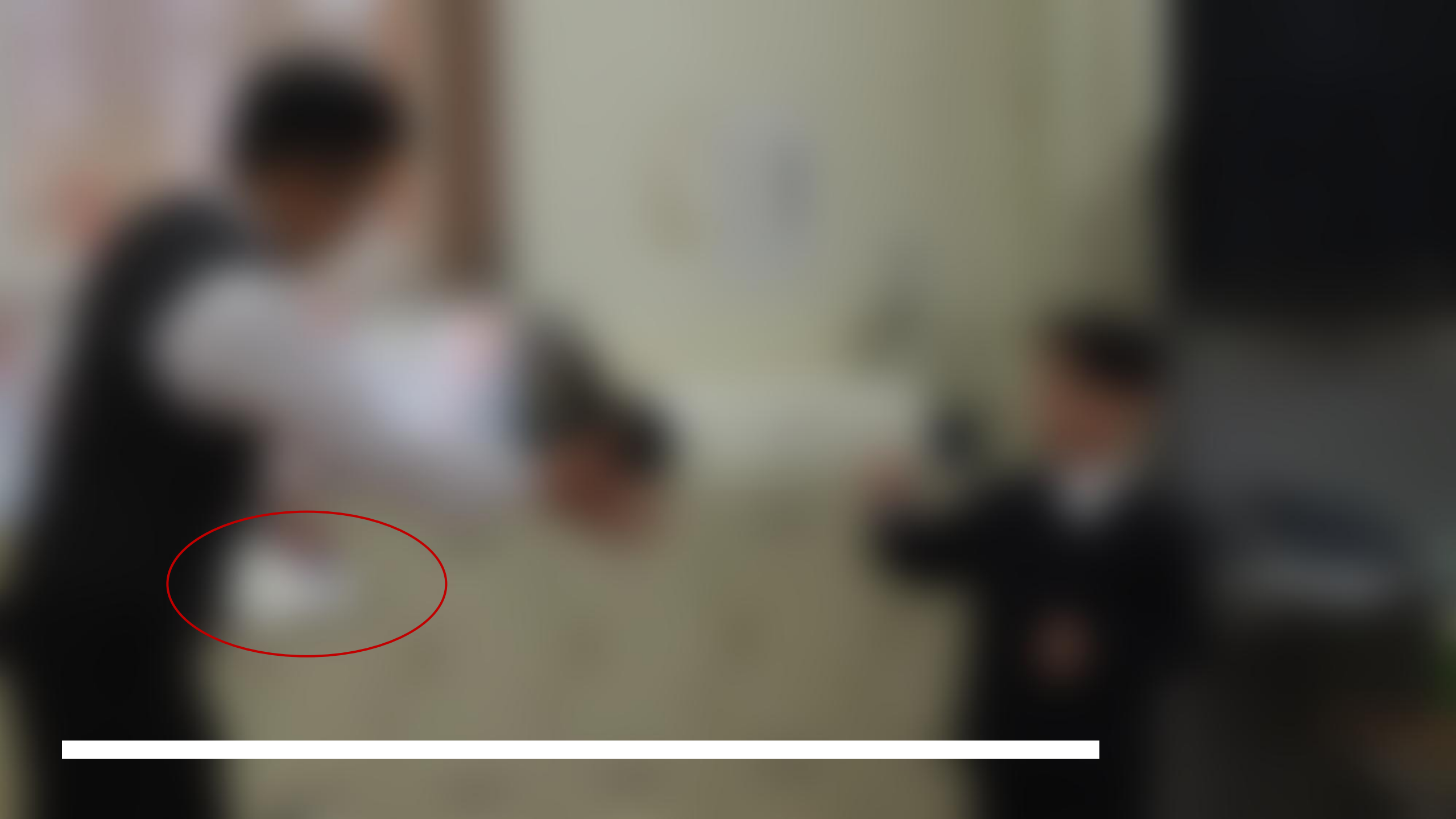
いきなり座学 4 5 分…



# 1 週目の時間割

1 ねん 1 くみ じかんわり						
ようび	月	火	水	木	金	土
ひにち	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日
あさのかつどう	に ゆ う が く し き	あさのじゅんぴがおわったら きょうしつで 6ねんせいとすごす				
1		ほっとたいむ	ほっとたいむ	ほっとたいむ	ほっとたいむ	ほっとたいむ
2		せいかつ	せいかつ	せいかつ	こくご	こくご
3		せいかつ	せいかつ	せいかつ	せいかつ きゅうしよくについて	さんかん じゅぎょう
4					せいかつ きゅうしよくについて	ぜんこう おんがく
5					おんがく	
げこうじこく		11:45ころ	11:45ころ	11:45ころ	14:45ころ	12:30ころ
れんらく						4時間目に学年懇談 会をします(1年生 教室にて)

・ほっとタイムのねらい  
ゆっくりとした時間の中  
で、これまで育まれてき  
た子どものよさを発揮し  
たり、幼稚園保育園の遊  
びを通して「もっとやり  
たい！」という新しい学  
びへの思いの高めたりす  
る





## ＜1日目＞

子どものよさをどんどん取り上げる 聞く姿 態度を伸ばそう！

○8:15~8:40

- ・教室で子どもたちを迎える（できれば両担任）
- ・連絡帳回収
- ・担任は連絡帳への返信は「後ほど」の紙で対応
- ・折り紙 迷路 読書（教室かワークスペース）

○8:40~9:30（ワークスペース）

- ＊一度、教室に戻ってワークスペースの並び方確認
- ・元気な挨拶 松岡
- ・命令ゲーム おまつ
- ・手遊び歌 りんごがゴロゴロ おまつ
- ・担任紹介 松岡⇒おまつ
- ・真似っこゲーム 信号ゲーム おまつ
- ・一人一人名前を呼ぶ⇒「はい！」返事のみ 1組⇒2組
- ・読み聞かせ（きれいすきティッチ） 松岡

○9:30~9:40（実際に連れていく）

トイレ指導 水飲み場指導

全体指導5分休憩ではなく学習準備時間と呼ぶ

- ・他の学年は勉強中
- ・廊下は公共の場 バス JR と同じ扱い

女子 トイレ⇒水飲み場（水飲み場は蛇口を下に戻すまで）

男子 水飲み場（水飲み場は蛇口を下に戻すまで）⇒トイレ

指導が終わり次第トイレ水飲みタイム

○9:40~10:00 各教室

生活科 学校探検

不思議や分からないことを出し合って解決する（その場所までいく）

ふじのめの教室に行く

○10:00~10:10 トイレ 水飲み 手洗い

○10:10~10:40 給食指導

- ・おにぎりを取りに行く 動線を指導
- ・簡易給

ごみの捨て方指導（おにぎりや麦茶のパック別々の袋 麦茶の残りは水道）

○10:40~10:50

- ・お便り配付

・ワークスペースで下校コース確認

（担任がワークスペースから「何色コースおいで。」と順に呼んでいく）

＊教師の声は落ち着いて 騒がない

＊椅子が机の中に入っているか指導 習慣付けよう

←

・確認後、「青色コース、教室に戻ります」色ごとに戻す。

○11:20~11:23 学年で帰りの会

気持ちよく帰れるように 良かった点を伝えましょう

←

○11:23（号車ごと）⇒靴箱へ 静かに

靴箱は号車ごとに行く。全員でいくとケガする。

←

○11:30~正門前に整列完了

←

＜下校指導＞

・色ごとに分かれて整列

・名前確認

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

←

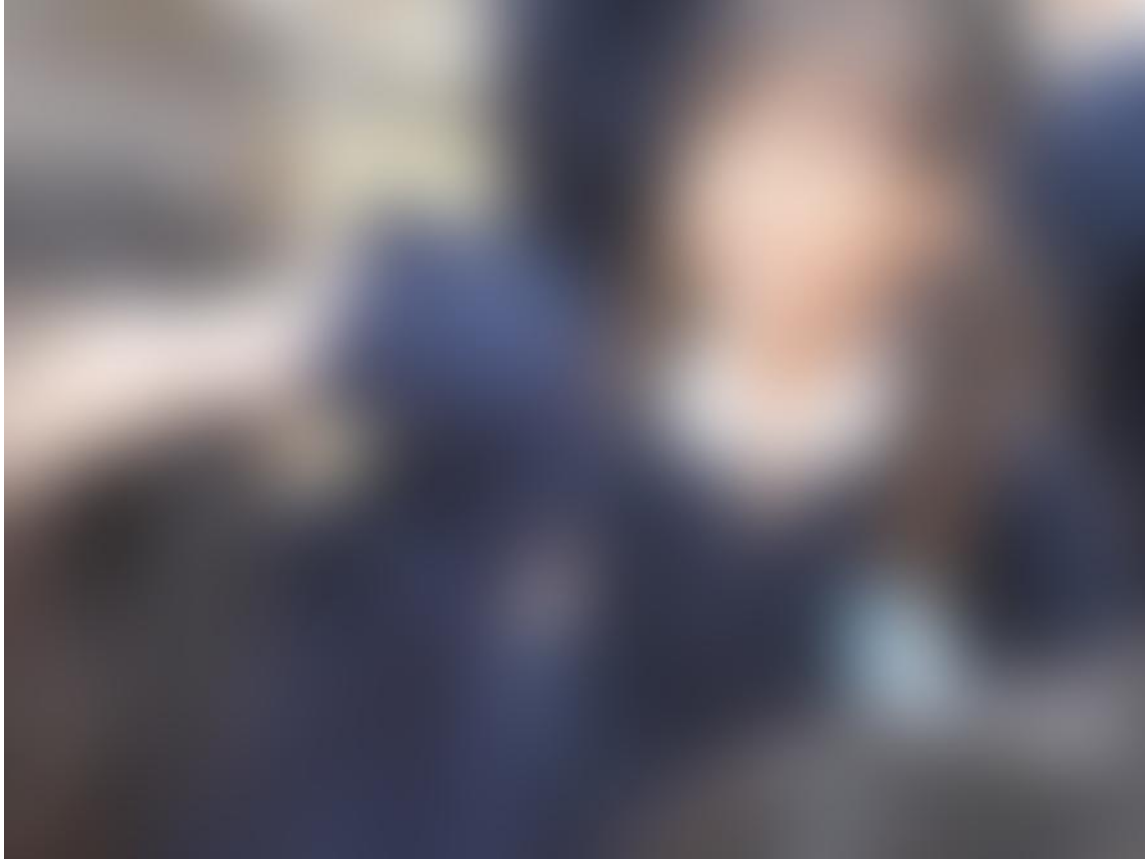
←

←

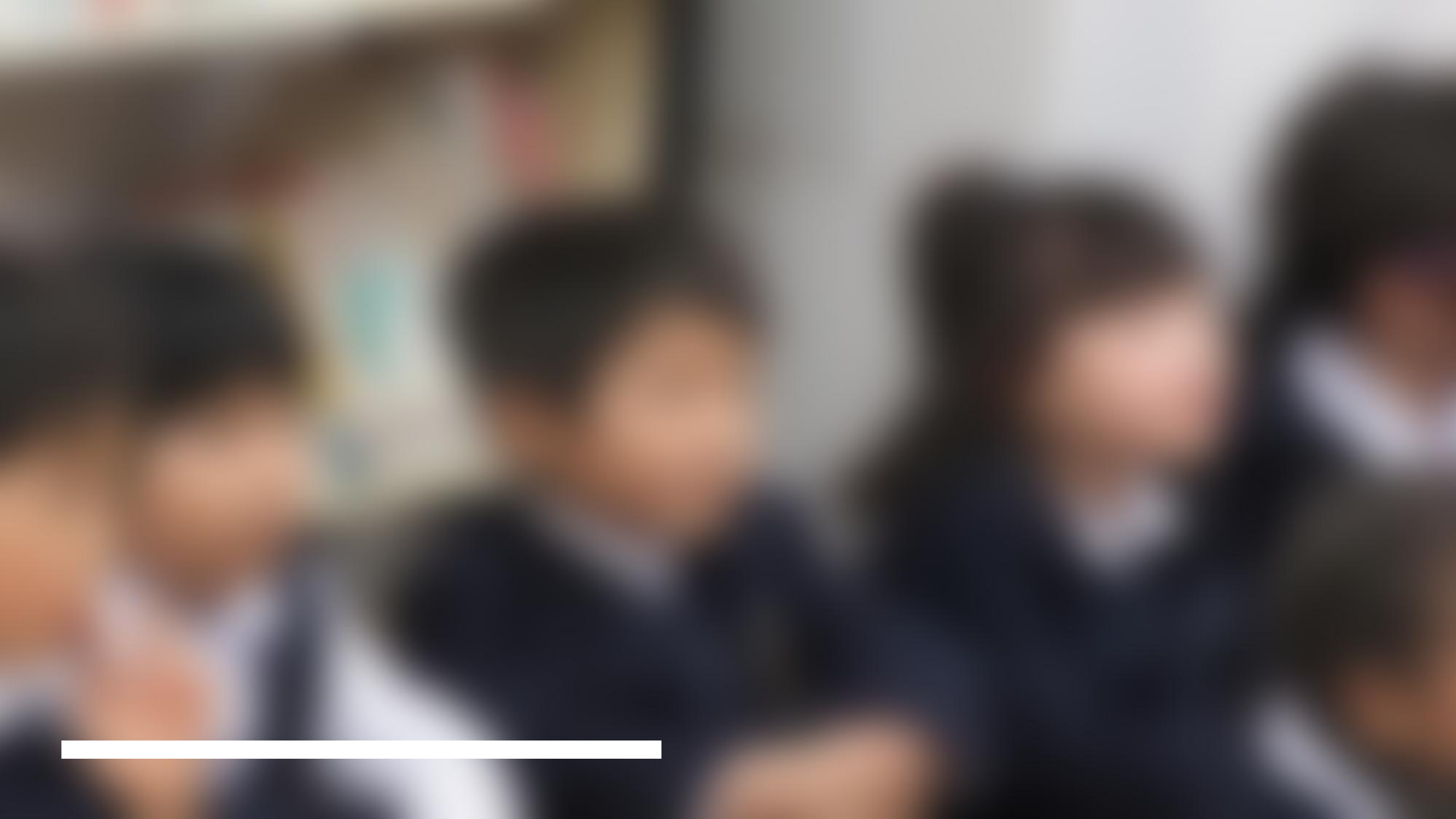
←

←

←



**遊びの中で新たな出会いをつくる**

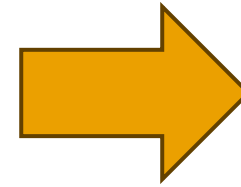






# 時間割

1ねん1くみ じかんわり						
ようび	月	火	水	木	金	土
ひにち	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日
あさのかつどう	あさのじゅんぴがおわったら きょうしつで 6ねんせいとすごす					
1	に ゆ う が く し き	ほっとたいむ	ほっとたいむ	ほっとたいむ	ほっとたいむ	ほっとたいむ
2		せいかつ	せいかつ	せいかつ	こくご	こくご
3		せいかつ	せいかつ	せいかつ	せいかつ きゅうしよくについて	さんかん じゅぎょう
4					せいかつ きゅうしよくについて	ぜんこう おんがく
5					おんがく	
げこうじこく		11:45ころ	11:45ころ	11:45ころ	14:45ころ	12:30ころ
れんらく						4時間目に学年懇談会をします(1年生教室にて)



4月1週目  
入学して  
6日目  
参観授業



# 4月1週目 参観授業

道徳科

みんなで遊ぶと楽しそうだね！

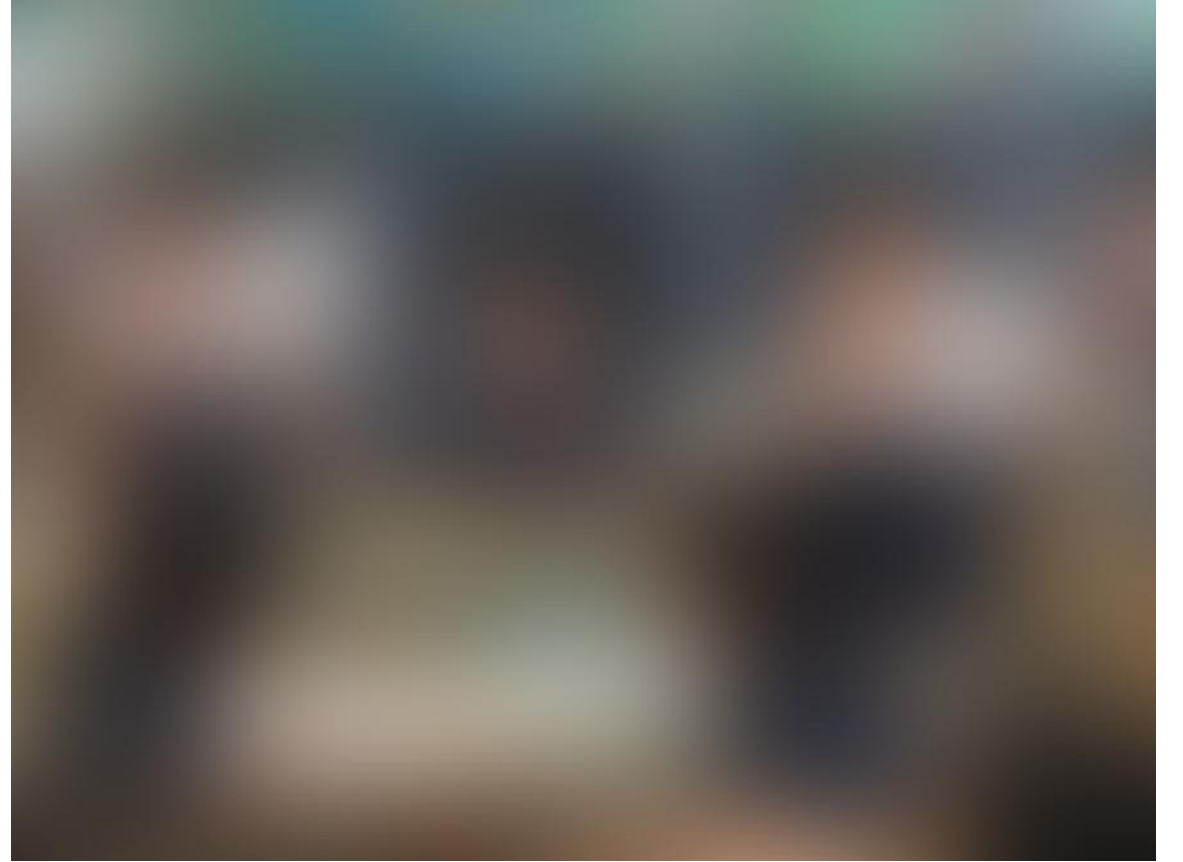
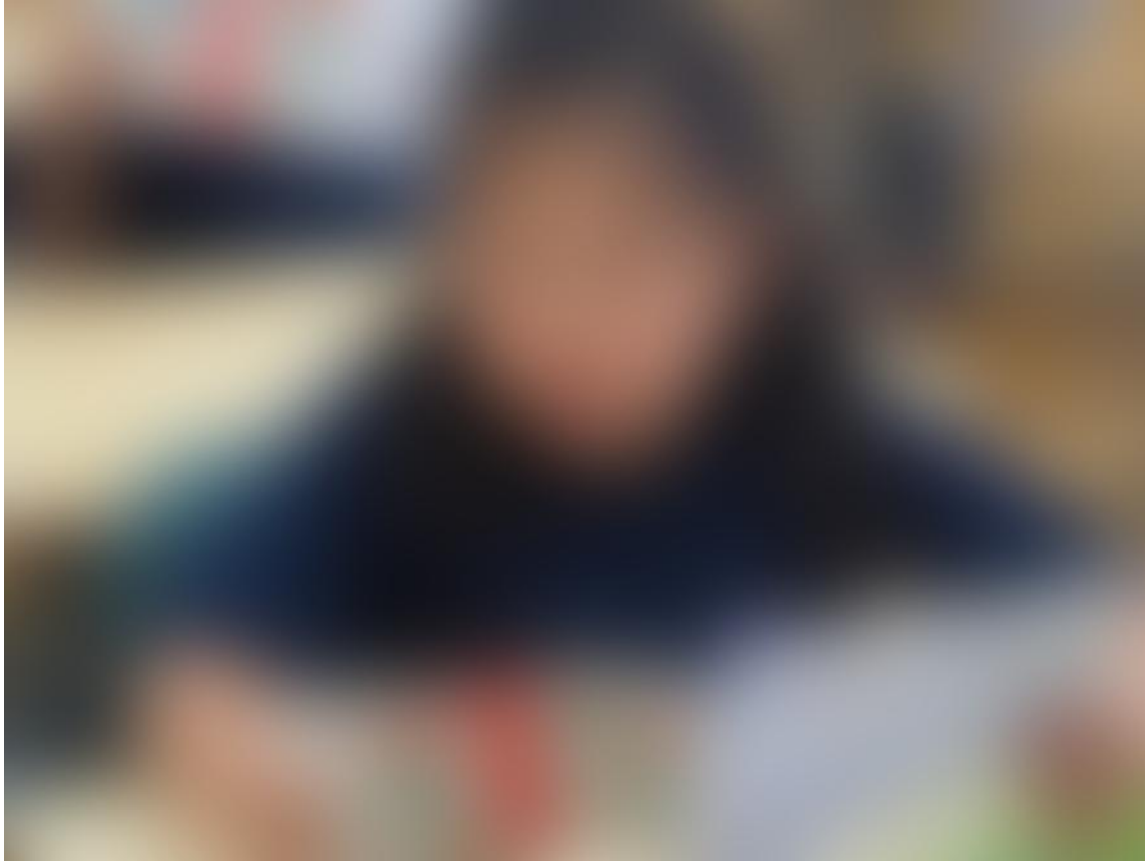


猛獣狩りを学年でする

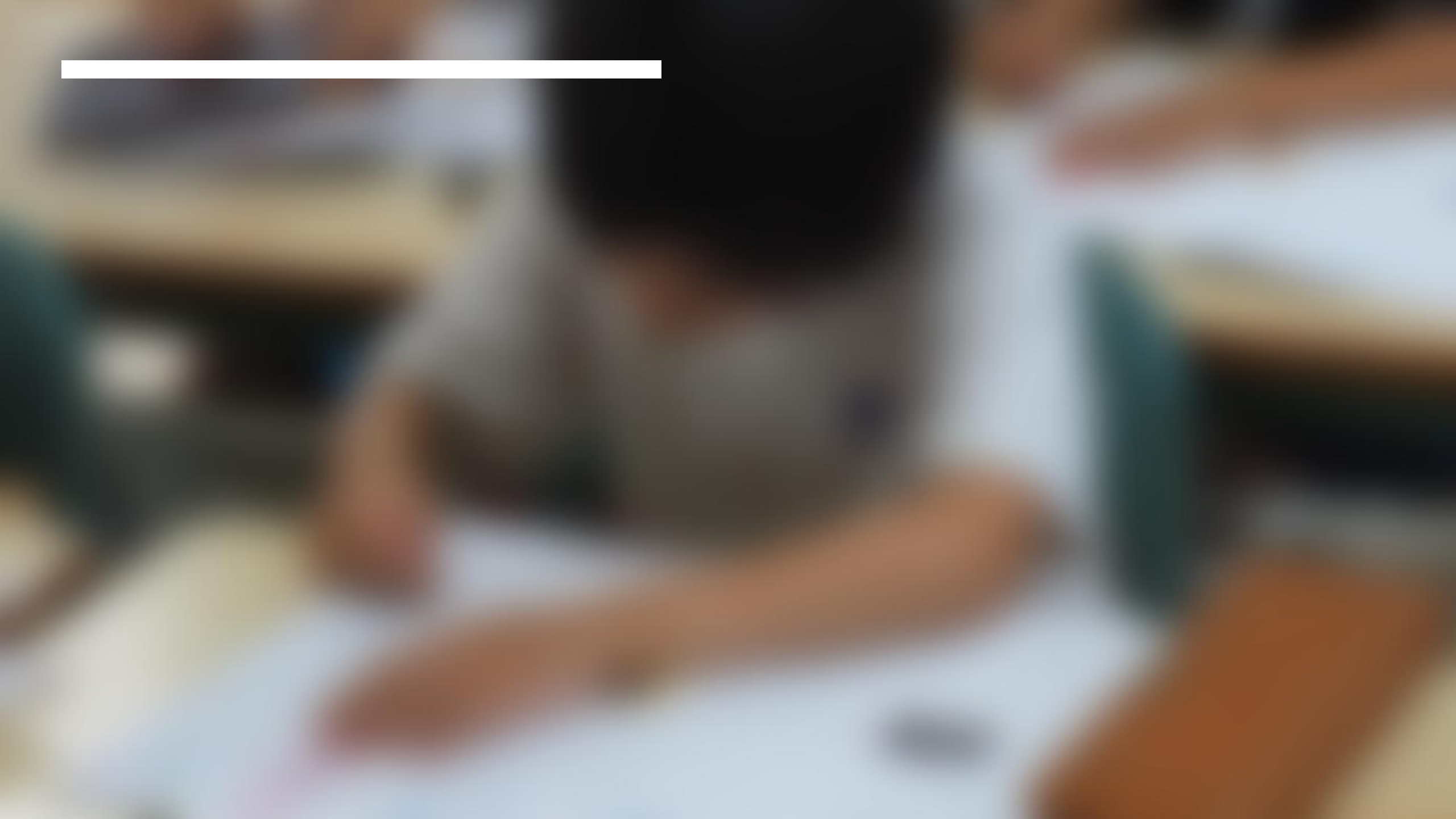
国語「はじめまして」

算数「いくつかな」

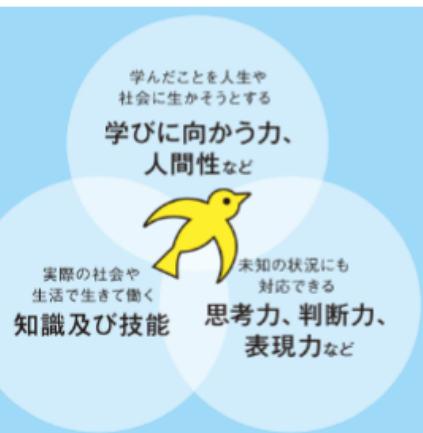




**7月もほんとタイムは続いている**



学校教育全体



※三つの力をバランスよく育みます。

幼稚園ではその基礎を育成

・知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、  
分かたり、できるようになったりする。

・思考力、判断力、表現力などの基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを  
使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現  
したりする。

・学びに向かう力、人間性など

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

※遊びを通して三つの力を一体的に育みます。

## 幼稚園での生活を通して

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

幼稚園ではその基礎を育成

## ・知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、  
分かったり、できるようになったりする。

・思考力、判断力、表現力などの基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

・学びに向かう力、人間性など

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

※遊びを通して三つの力を一体的に育みます。



幼稚園ではその基礎を育成

・知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。

・思考力、判断力、表現力などの基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを  
使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現  
したりする。

・学びに向かう力、人間性など

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活  
を営もうとする。

※遊びを通して三つの力を一体的に育みます。

具体的な活動や体験を通して、  
身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、

自立し生活を豊かにしていく

〔育成を目指す資質・能力〕

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(知識及び技能の基礎)
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等の基礎)
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

生活科の教科目標の構成

## 自立し生活を豊かにしていく

能力)

身、身近な人々、社会及び自然に気付くとともに、生活上

ここでいう「考える」とは、児童が自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たとえるなどの学習活動により、分析的に考えることである。また、試す、見通す、工夫するなどの学習活動により、創造的に考えることである。「表現する」とは、気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりすることである。一人一人の気付きなどが表現されることによって確

必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(知識及び技能の基礎)

(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等の基礎)

(3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

生活科の教科目標の構成

幼稚園

・知識及び技能が豊かになり、  
自分ごととして、できるようになる。

・思考力、判断力、表現力などの基礎  
気付いたことや、できるようになったことなどを  
使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現  
したりする。

・学びに向かう力、人間性等  
心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を  
営もうとする。

※遊びを通して三つの力を一体的に育みます。

## 幼稚園ではその基礎を育成

### ・知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。

### ・思考力、判断力、表現力などの基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを  
使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現  
したりする。

### ・学びに向かう力、人間性など

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活  
を営もうとする。

※遊びを通して三つの力を一体的に育みます。

具体的な活動や体験を通して、  
身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、

自立し生活を豊かにしていく

(育成を目指す資質・能力)

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。(知識及び技能の基礎)
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等の基礎)
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

生活科の教科目標の構成



学校教育全体



※三つの力をバランスよく育みます。

幼稚園ではその基礎を育成

・知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、  
分かったり、できるようになったりする。

・思考力、判断力、表現力などの基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを  
使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現  
したりする。

・学びに向かう力、人間性など

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活  
を営もうとする。

※遊びを通して三つの力を一体的に育みます。

幼稚園での生活を通して

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

### 体育

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

### 道徳

### 社会

### 理科

### 国語

## コンテンツ イメージの姿

### 算数

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- 健康な心と体
- 自立心 **主体性**
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重 **思考力**
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

**コンピテンシー  
イメージの姿**

